

市政ニュース

市議会役員決定

議長は森田健治さん、副議長は椿野仁司さん

11月11日、市議会臨時議会が開催され、議会役員が決まりました。

議長に森田健治さん、副議長に椿野仁司さん、議会選出の監査委員に伊藤仁さんがそれぞれ選ばれました。



監査委員 伊藤 仁

副議長 椿野 仁司

議長 森田 健治

11月11日、市議会臨時議会が開催され、議会役員が決まりました。

議長に森田健治さん、副議長に椿野仁司さん、議会選出の監査委員に伊藤仁さんがそれぞれ選ばれました。

議長に森田健治さん、副議長に椿野仁司さん、議会選出の監査委員に伊藤仁さんがそれぞれ選ばれました。

■常任委員会

【企画総務委員会】

◎門間雄司 ◎井上正治

【市民福祉委員会】

◎古池信幸 ◎嶋崎宏之

【文教委員会】

◎福田嗣久 ◎奥村忠俊

【建設経済委員会】

◎宮田 弘 ◎野口逸敏

■特別委員会

【議会広報特別委員会】

◎安治川敏明 ◎田中君代

【交通網問題調査特別委員会】

◎青山憲司 ◎升田勝義

【庁舎建設調査特別委員会】

◎芝地邦彦 ◎関貫久仁郎

【議会改革特別委員会】

◎綿貫祥一 ◎峰高正行

■議会運営委員会

◎木谷敏勝 ◎岡谷邦人

豊岡市中学生徒会連合会から東日本大震災被災地へ

応援メッセージを届けました

10月19日、東日本大震災被災地の中学校を応援しようと、豊岡市中学生徒会連合会代表が、市内11中学校の生徒が作った応援メッセージを石高教育長に託しました。

これは、8月の中学生徒会リーダー研修会で、「被災地に向けて、何か自分たちでできることはないか」と話し合い決めたものです。

近畿大学附属豊岡中学校にも賛同を得て、各学校で工夫



▲千羽鶴、メッセージソング、貼り絵や刺しゅう雑巾などさまざま

城崎温泉

さらに安心への一歩 城崎温泉旅館協同組合と災害時支援協定を締結

10月31日、市と城崎温泉旅館協同組合(田中秀樹理事長)との間で「災害時における避難場所及び物資の提供に関する協定」を締結しました。

この協定により、大規模災害が発生した場合、市から要請があれば、城崎温泉の旅館、ホテルが住民や観光客の避難場所として開放されるほか、各施設で炊き出しによる飲食物などが提供されます。



▲災害協定締結後、中貝市長と握手する田中理事長

初出場で快挙

豊岡市女性消防隊が第20回全国女性消防操法大会「優良賞」受賞

10月19日、第20回全国女性消防操法大会(横浜市)に兵庫県代表として初出場した豊岡市女性消防隊は、44チーム中9番目の成績で、近畿地方唯一の「優良賞」を受賞しました。

同隊は、1月から訓練を開始し、6月には、前回同大会に出場した赤穂市女性消防隊に1日入門。8月には、京都府代表の京丹後市女性消防隊と合同操法訓練を行うなど、

全国大会入賞を目指し励んできました。訓練日数は62日も及びます。

その努力の甲斐あって、今回の快挙となりました。なお、兵庫県の代表が上位入賞したのは平成7年以来的のことです。



▲見事な連携・動きを披露し「優良賞」を獲得。見よ！女性パワー

59人の園児が元気にサッカー!! スポーツ選手活用体力向上事業サッカー教室開催

10月19日、蓼川保育園(日高町祢布)で、サッカー元日本代表の名良橋 晃さんを講師に迎え、「スポーツ選手活用体力向上事業サッカー教室」を開催し、同保育園の4・5歳児59人が参加しました。

この教室は、子どもたちが主体的にスポーツに親しむ姿勢や習慣を身に付けることを目的とした文部科学省・公益財団法人日本体育協会の「子どもの体力向上啓発事業」の一環です。園児たちは、ボールを使った鬼ごっこやパス練習、ミニゲームなど、元気がいっぱい園庭を駆け回り、体を動かすことの楽しさと友だちと協力することの素晴らしさを学びました。

短い時間でしたが、本物のトップアスリートと触れ合えたことで、将来の夢を大きく

ふくらませた子もあり、園児たちにとって貴重な1日となりました。



▲名良橋さんと一緒にミニゲームを楽しむ園児たち

「壮大な宇宙のように」子どもを大きく育てるために

豊岡市宇宙教育講演会開催

国際宇宙ステーションへの物資補給機「こうのとりのり」2号機の打ち上げから、より親しみを感じるようになった宇宙市では、大きな夢を持った子どもを育成するため、小・中学生を対象に宇宙教育を推進しています。

町で、「宇宙の大きさと現在の姿を知ろう」と題した講演会を開催しました。

当日は、探査機による貴重な映像や惑星の紹介、月がどのように形成されたかを説明する説の一つ「ジャイアントインパクト説」なども学びました。子どもたちは好奇心いっぱいで、さまざまな質問が飛び交っていました。

11月7日、独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)の연구원・津村耕司さんを招き、竹野南小学校(竹野町)と小野小学校(出石



▲宇宙の話は面白いと大好評

中貝市長の徒然日記 ④

突進だ!突進あるのみ!

政治家としての父ともいべき人を失いました。

大きな声。分厚い手。カレイの骨をバリバリと噛み砕く強靱な歯。牛乳瓶の底のような分厚いレンズのメガネ。「中貝君、そんな生ぬるいことでもいいのか!」

何度叱られたことか分かりません。そのどれもが、懐かしく、いとおいです。

忘れられない光景があります。総選挙の最終日、選挙カーは広い選挙区を回り、豊岡を抜け、城崎・竹野を抜け、香住を抜けて、彼が生まれ育った町、村岡に向けてひた走り、に走っていきます。美方郡に入るころにはとつぷり日が暮れて、車は名前を連呼しながら、街灯もない道をくねくねと山を登り、谷を下り、また山を登り、谷を下りながら進んでいきます。所々にぼつんと家があり、ぼつんと集落があり、車が近づいていくと「私たちはここにいますよ」とうかのように懐中電灯の光が

くるくると円を描き始めます。真つ暗な道沿いに人々が固まり、待っているのです。

これこそが、彼の政治家としての原点なのだ。私は確信しました。

過疎地への思いを語ることは誰にでもできます。しかし、過疎地の人々への、火を噴くような思いと強烈な責任感、深い愛着を持って、イノシシのように突進した政治家を私は他に知りません。そしてその視点は、はるか但馬を超え、日本中の過疎地へと向けられていました。そこに私の人々がいるのだ——その情熱の奥底に、あの暗闇の中で、蛍のように光を放って、彼を慕い、頼りにした人々の姿があったのだと思います。

「中貝君、何ぐちゃぐちゃ言ってるんだ。突進だ!突進あるのみ!」叱咤激励する声が今も聞こえてきます。

過疎地の人々のために頑張るぞ!

